

トマト品種の試作記録

砂川市 射水 基

私は園芸と酪農の結びついた経営を理想として既に一〇年近くになります。幸いにも私の地帯は土質、市場条件から見て野菜栽培に好適していますし、生菜植物いじりが好きだったので野菜作りにも強い興味をもつてのぞめました。ただ何分にも乳牛の飼養から五〇㍉の水田を二人で経営して居る関係上、野菜畑は三〇㍉に止めております。作付の内容は甜瓜、トマト、茄子、南瓜、早生甘藍とこの地方特産のものですが品種に深い関心を持ち、自分で多少品種改良も手がけております。野菜栽培の上で労力の配分には苦勞し、なるべく機械力の導入による省力栽培を主体に考えています。そんなわけでトマト栽培も露地早熟をねらいとしております。

トマトの品種は今迄多くのものを試作の上で選択して参りましたが、思わしいものがなく、一般種苗商で扱っております品種の大部分が府県産ときいて、道産ものがないと聞いております。

第1表 生育調査

品類名	調査日		
	4月7日	7月20日	7月25日
陵西福寿2号	13.5 ^{cm}	35.3 ^{cm}	134.0 ^{cm}
日の出	11.5	36.0	156.0
雪交52号	14.0	37.3	160.7
福寿2号	15.5	35.0	157.0
長交福寿2号	11.5	31.7	142.7
雪交80号	11.5	38.0	147.7
ひかり	11.0	32.7	152.7
雪交5号	10.5	37.0	177.0
雪交48号	11.0	34.0	167.0

第2表 収量調査表 (30株当)

品類名	初期		前期		中期		後期		全収量	平均	収割%
	7/17~7/30	8/1~8/15	8/17~8/30	9/1~9/10	7/17~7/30	8/1~8/15	8/17~8/30	9/1~9/10			
陵西福寿2号	40	3,550	86	8,800	171	19,300	59	9,250	356	40,900	114.9
日の出	31	3,950	83	8,900	171	24,850	74	10,000	359	47,700	132.9
雪交52号	51	7,250	76	12,600	138	25,200	55	9,400	320	54,450	170.2
福寿2号	34	6,500	73	10,100	163	25,700	59	8,900	329	51,200	155.6
長交福寿2号	46	4,950	55	6,600	185	22,650	43	6,200	329	40,400	122.8
雪交80号	34	5,880	80	10,350	185	34,550	60	10,100	359	60,888	169.6
ひかり	35	5,350	47	6,100	185	27,550	55	7,700	322	46,700	145.0
雪交5号	53	7,650	62	8,750	173	26,300	63	8,800	351	51,500	146.7
雪交48号	22	4,650	85	13,000	179	34,750	59	8,600	345	61,000	176.8

いかと探しておりましたところ、たまたま雪印種苗で北海道独自の品種改良を進めておるときいて早速試作用種子の分譲をうけ試作してみました。何分にも一年だけの試作ではありますが、成績を報告して皆様のご

第3表 市場に於けるトマトのkg当り単価 (1962)

時期別	単価		時期別	単価	
	安値	高値		安値	高値
7月17~18日	73	80	8月19~20日	~	12
20~22	55	63	21~22	4	6
24~26	43	55	24~25	13	15
28~30	62	67	26~27	20	24
8月1~3	32	38	28~30	12	17
5~7	19	26	9月1~2	14	20
9~11	20	35	3~4	19	27
13~15	55	70	6~8	15	20
17~18	15	19	10~	25	30

第4表 昭和36年度トマト収支 (面積3.5㍎ 福寿2号)

収入	37,060円	平均単価	31.73円
売上数量	1,168kg	農薬	300円
支出	16,729円	諸材料	1,406円
肥料	1,451円	資本利子	710円
種子	850円		
機械	300円		
労賃	11,712円		
生産費	1kg当14.32円	利益	1kg当17.41円

参考になれば幸いです。場所及び土性 砂川市 空知太 洪積土、埴壤土、地力は普通

二 供試品種

九種 陵西福寿2号、福寿2号(滝川市内種苗商)長岡交配福寿2号、雪印交配日の出、雪印交配五二二号、雪印交配八〇号、雪印交配四八号、雪交五号、ひかり(サカタ)

三 耕種概要

播種期 二月二八日
第一回 三月二六、二七日
第二回 四月七日
第三回 五月一三日
定植 五月二四、二五日
栽植距離 七五㍎×五二㍎
施肥量 (一〇㍉当)
堆肥二、五〇〇㍎、米糠三〇㍎、硫酸二四㍎、過石二二㍎、熔燐二〇㍎、硫加一九㍎

ホルモン処理 五月二五日、六月一日、六月八日の三回、トマトフィックス一〇〇倍液使用
病害虫防除 ダイセン、ポルドーを数度

四 成績概要

散布したが、病害少なく、また品種間の差もなかった。
苗床から生育最盛期迄三回草丈を測ったのが第一表で、福寿系は種苗時徒長しやすけれども、その後の生育は雪交系が大体強勢な生育を見せております。
収量調査は一般栽培に準じなるべく連日行ない、特に少ない場合のみ二日おきに行ないました。七月末迄の収量の多かったのは雪交五号、五二二号で、日の出を除いて福寿系より多収を得ております。なお調査したものを市場に出しましたが、その時の市場価格は第三表の通りです。
この品種試作の結果、雪印の交配種の府県産の品種よりいずれも良いといえることが出来ると思えます。そして今年のトマトは今迄にない多収をあげ得て、売上も良い成績であったことを併せてご報告申し上げます。なおトマト栽培の収支について目下集計中なので昭和三十六年度の収支決算を参考のために掲げておきました。終わりに試作用種子をご恵送下さいました会社(御礼申し上げます)弊社では各種の野菜の品種改良を進めており、雪交五二二号を新品種名いしかり」として本年度から販売致しております。なお未発表種についてもご試作の希望がありますとお送り申上げますからお申込み下さい。